

よくあるご質問とその回答

平成 24 年 2 月 13 日

平成 24 年 3 月 15 日 Q2・A2 追加

日本糖尿病学会

●病院・検査関係者の方々へ

Q1. JLAC10 コードはどのようになるのか.

A1. 従来使用されてきた JLAC10 コードは JDS 値用として維持され、新たに使用される NGSP 値に対応する JLAC10 コードを日本臨床検査医学会の検査項目コード委員会に申請し、制定の運びとなった. 具体的には以下の通りである.

●新設分析物コード : 3D046

●新設分析物名称 : グリコヘモグロビン A1c (NGSP)

(〔分析物名 (2)〕 HbA1c (NGSP))

NGSP 値 JLAC10 コード	JDS 値 JLAC10 コード	項目名
3D046 0000 019 062 02	3D045 0000 019 062 02	〔062 (ラテックス凝集比濁法)〕
3D046 0000 019 204 02	3D045 0000 019 204 02	〔204 (HPLC)〕
3D046 0000 019 271 02	3D045 0000 019 271 02	〔271 (可視吸光度法)〕
3D046 0000 019 999 02	3D045 0000 019 999 02	〔999 (その他)〕

Q2. 運用指針における「3. 表記に基づく HbA1c の区別」の「3—2. 表示・印字文字数に制約のある場合の検査項目名」では、表示・印字文字数が 5 文字以内の場合、HbA1c (NGSP) を「A1C」と表示・印字することとなっている. 電子カルテによっては、表示文字数が 8 文字以内や 10 文字以内の制限になっているものもあるが、このような場合も「A1C」とするのか.

A2. 検査項目名の表現は、誤解を避けるために、

- ・「HbA1c」という表現を可能な限り用いる
- ・JDS 値と NGSP 値の区別が明瞭且つ簡便にできるようにする

ことが望ましい. したがって、文字数制限が 8 文字の場合、

HbA1c (J), HbA1c (N)

等が、また、文字数制限が 10 文字の場合、

HbA1c/JDS, HbA1c/NGSP

等が検査項目名表現の望ましい例となる. また、できるだけ早期に「HbA1c (NGSP)」や「HbA1c (JDS)」が使用可能になるようご検討をお願いしたい.

なお、患者さんの目に触れる結果報告用紙などでは、極力「HbA1c (NGSP)」や「HbA1c (JDS)」を用いていただくことが望ましい.

「A1C」という表現は、あくまで文字数制限がごく厳しい場合に JDS 値と区別する

ための記号であるとお考えいただきたい。

